



西小だより

山形市立西小学校
令和7年3月4日
校長 小林 聡

【学校教育目標】未来への夢をもって、豊かに学び、しなやかでたくましい子どもの育成

1月は仙台サンブラザホールで東北バンドフェスティバル、2月は山形市中央公民館ホールでサークルフェスティバルが開催され、金管バンドクラブとけやき太鼓クラブの子ども達がそれぞれ練習の成果を十分に発揮してきました。どちらも音と心がぴったり合った、聴く人の心に響く素晴らしい演奏でした。ご協力いただいた保護者の皆様、ご指導くださったけやき太鼓保存会の皆様には心から感謝申し上げます。大人けやき太鼓の演奏も、それはそれは大迫力で、盛大な拍手が何度も送られたことを申し添えます。



君の中にある 君だけの一番星

ひとつぼし

学年・学級じまいに向かう今は、とても大きな節目の時期。節々にぎゅっと力をためてその先がぐんと伸びる竹のように、子ども達も進学・進級した先でまたぐんと伸びられるよう、この節目を大事にしたいと思います。



4月の入学式では、1年生はもちろん、全校生にも何か伝えれば良いなと考え、こんな話をしました。基になったのは「ひとつぼし」という一冊の絵本です。

一人一人必ずもっている、自分だけの「☆一番星」。「一番星」は自分の中にある、自分だけの光です。好きなことも得意なこともみんな違い、光り出す時もいろいろです。お絵かきの時に光る子、かけこの時に光る子、歌う時、本を読む時に光る子もいるでしょう。誰かが困っている時にやさしく光る子もいるはずです。

自分だけの「一番星」を思う存分輝かせて、楽しい学校生活を送ってほしいと願っています。

新しい学年でスタートした頃を思い起こすと、どの子も「ここまで本当によく成長したな」「子どもって、やっぱりすごいな」と嬉しくなります。目の前の子どもの育ちを真ん中に据え、その成長形を大事にし、何よりの楽しみとしてきた一年でしたから、お家の方が見つけた一番星をその思いを込めてぜひお子さんに伝えてほしいと思います。それは親としての責任と喜びであり、くらしを共にした子どもへの感謝とリスペクトでもあると考えます。

ただ、できたこと（結果）だけをほめるような言葉かけには十分気をつけたいものです。**結果は変化（過程）の積み重ね**ですから、「どのような変化があったのか。その変化の裏側にはどんな苦労や工夫、努力があったのか」に焦点を当てたいと考えます。

例えば、テストで百点を取ったことを「100点取ったのね。すごいわ」とだけ言われた子は、結果だけに価値を見出すようになるかも知れません。しかし、常にいい結果が出るとは限りませんから、悪い結果になった時は、「怒られる、意欲がなくなる、結果を隠したり、ごまかしたり、捨てたり、嘘をついたりせざるを得なくなる」等の行為につながるとも言われます。一方、「100点取ったのね。毎日一生懸命がんばって段々できるようになったものね。その努力がすごいわ」と言われた子は、「努力しているのを知ってくれたんだ」……結果につながる**過程にこそ価値がある**のだと考えますから、その先も変わらず一生懸命練習に取り組んでいくことでしょう。

そして、最も大事なことは**自分自身が自分の一番星に気づく**ことです。自分だけの一番星がこれから先の自分の支えに、自分への励ましやふんばる時のエネルギーになってほしいと心から願っています。

最後に、絵本の中から。

あなたの一番星は、やさしさの一番星
まわりをてらすためにかがやく それはあたたかなひかり

同窓会入会式 ～卒業生74名 同窓会の仲間入り～

2月19日、大沼同窓会長、菅谷副会長にご臨席賜り、同窓会入会式を行いました。

大沼会長さんの子どもたちへの質問から、「お父さんまたはお母さんが西小卒業生」という子がたくさんいることを知りました。「西小の卒業生としていつまでも仲良く、この地域で育った一人として地域や学校のことをいつも心にとめながらがんばってほしい。そして、これから創立50周年、60周年、……みんなが私ぐらいの年齢になる100周年の時には、その中心となって盛大にお祝いしてほしい。」というお話をいただきました。

それを受けて、代表のT.Nさんから「西小で学んだこととたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れず、希望をもって前向きな気持ちでがんばっていきます。西小のシンボルである2本のけやきのように、たくましく成長していきます。」という頼もしい言葉と各学級代表幹事6名の紹介がありました。6年生にとって、心新たに卒業に向かっていく貴重な機会となりました。



令和7年度 教育計画より

来年度の教育計画の中から、現時点でお伝え出来ることをお知らせいたします。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1 運動会について

「運動会は子どものどんな力が伸び、どんな育ちを実現するための行事なのか」という視点に立ち、運動会について改めて吟味、検討しました。『主体性、協働性、自治力、創造力等を育む運動会（実行委員、係活動、団体競技、応援等）』と目的を明確にして実施いたします。

運動会は、来年度も平日開催で、令和7年10月2日（木）に行います。

〈理由1〉9月中旬は、残暑が厳しい中での練習が避けられず、健康被害の危険が高まります。

10月実施により、暑さによる健康被害を避けることができるとともに、暑さ対策のテント設営も不要となり、保護者の皆様のご負担軽減にもつながります。

〈理由2〉10月以降の土日にはスポーツ少年団や地域の行事等がたくさん重なり、運動会に参加するか、各種大会に参加するか等の選択を迫られることが予想されます。子どもたちがいずれにも参加でき、それぞれで存分に力を発揮する機会を保障したいと考えます。

2 学習発表について

今年度と同様、全校生が一堂に会してではなく、各学年の学習の進捗に合わせた発表といたします。学習発表の目的は、「相手意識や必要感をもって学習の成果を伝える活動を通して、考え抜く力、創造する力、協働する力を一層伸ばすこと」です。発表内容や時期、場所等については、各学年の学習の進み具合や深まり具合等を大切にしながら決めていきたいと考えています。

学校の様子についてホームページでお知らせしています。
(現在、更新システムが停止中。3/10 復旧の予定です。)

